

令和4年度の主な取組事例 広島県東部建設事務所管内

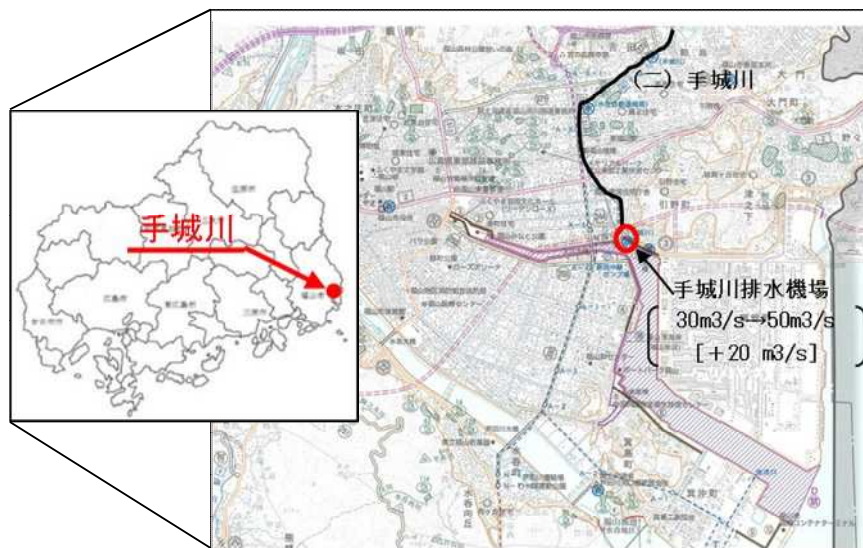
1. 広島県の取組状況

(1) 迫り来る危険を認識した的確な避難行動のための取組

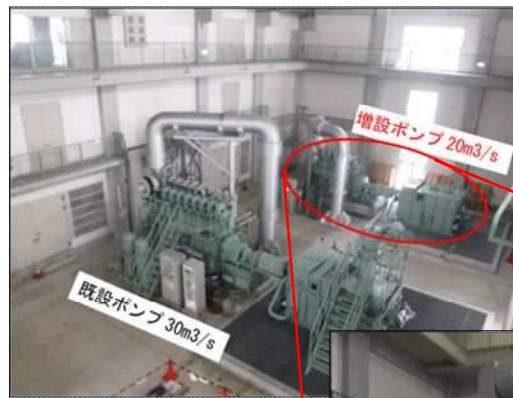
①洪水氾濫を未然に防ぐ対策

排水ポンプを増設することにより排水能力が向上し、地域の治水安全度が向上しました。(手城川排水機場)

- このたび、手城川排水機場の排水ポンプ増設工事（20m³/s）が完成し、既設排水ポンプ（30m³/s）との一体的な運用を令和5年4月1日より開始した。排水能力の向上に伴い、手城川下流域の治水安全度が向上した。



▲手城川排水機場位置図



▲手城川排水機場ポンプ設置状況

(1) 迫り来る危険を認識した的確な避難行動のための取組

③洪水浸水想定区域図・ハザードマップの作成・周知

県内全ての国及び管理河川において、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成し、令和4年9月5日に指定を完了しました。

- 広島県HPから図面(PDF)により閲覧できる。
- 洪水浸水想定区域図はインターネットやスマートフォンで「洪水ポータルひろしま」から確認できる。
- 「洪水ポータルひろしま」では高精度なXRAIN(降雨観測情報)の配信や避難所の位置も確認できる。

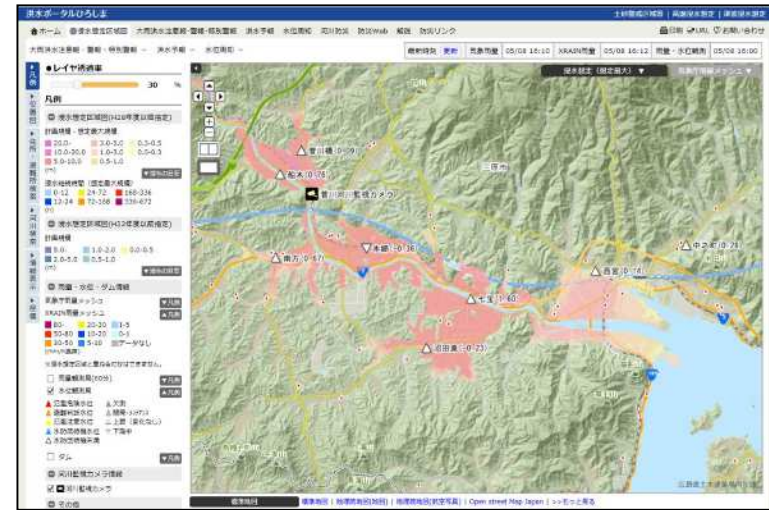
洪水ポータルひろしま

検索

▼洪水ポータルひろしまトップ画面【パソコン】

| 注 | 大花特別警報 (警報レベル3相当) | 警報 (警報レベル2相当) | 注意報 (警報レベル1) | 詳細 |
|------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 浸水想定 | - | - | - | - |
| 洪水に関する警戒レベル相当情報 | 浸水想定警報 (警報レベル3相当) | 浸水警戒警報 (警報レベル2相当) | 浸水注意警報 (警報レベル1相当) | 浸水注意警報 (警報レベル1相当) |
| 水の浸透情報 | - | - | - | 詳細 |
| 上記のうち、 洪水予報河川 | - | - | - | 詳細 |

▼洪水浸水想定区域図(想定最大)【パソコン】



(1) 迫り来る危険を認識した的確な避難行動のための取組

③洪水浸水想定区域図・ハザードマップの作成・周知

小・中学校を対象に想定される浸水深や実績の浸水深を示した標識を設置する取組を実施中。

1. まるごとまちごとハザードマップとは

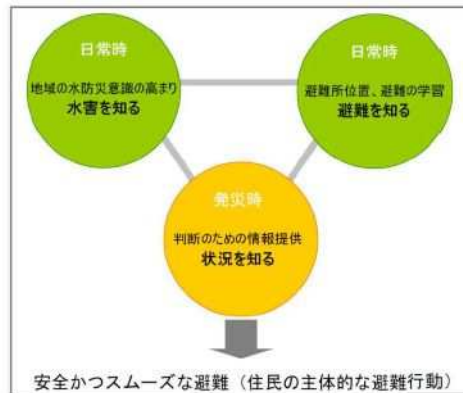
まるごとまちごとハザードマップ

自らが生活する地域の水害の危険性を実感できるよう、居住地域をまるごとハザードマップと見立て、生活空間である“まちなか”に水防災にかかわる以下の情報を標示する取組

- 洪水・内水・高潮の浸水深に関する情報
- 避難行動に関する情報(避難所及び避難誘導に関する情報)

目的

“まちなか”に表示することにより、日常時から水防災への意識を高めるとともに浸水深・避難所等の知識の普及・浸透等を図り、発災時には命を守るための住民の主体的な避難行動を促し、被害を最小限にとどめることを目指す



●洪水・内水・高潮の浸水深に関する情報例



●避難行動に関する情報例(避難所及び避難誘導に関する情報)



(1) 迫り来る危険を認識した的確な避難行動のための取組

④ 避難確保計画の作成・確認

要配慮者利用施設における「**避難確保計画**」の作成の義務化を踏まえ、各施設における速やかな避難確保計画の作成のための支援を行った。

○要配慮者利用施設（洪水）3,107施設のうち、計画作成済施設は2,857施設（約92%） ※R5.3末現在

講習会プロジェクト



○令和5年1月に安芸高田市で避難確保計画作成の必要性や作成ポイントについて講習会を行った。

作成に向けた資料



○YouTubeでナレーション付き動画も公開している。

【国土交通省 YouTube】



○水害リスク、作成手順など避難確保計画を的確に作成できるよう解説を充実。

【関連ホームページ】（国土交通省）

- ・避難確保計画の作成・活用の手引き
- ・記載様式
- ・チェックリスト 等

<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/jouhou/jjeisuibou/bousai-gensai-suibou02.html>



- ・避難確保に関するeラーニング教材【動画】



<https://youtu.be/VtMlyW9Yow4>

- ・避難確保計画の作成・活用のポイント【動画】

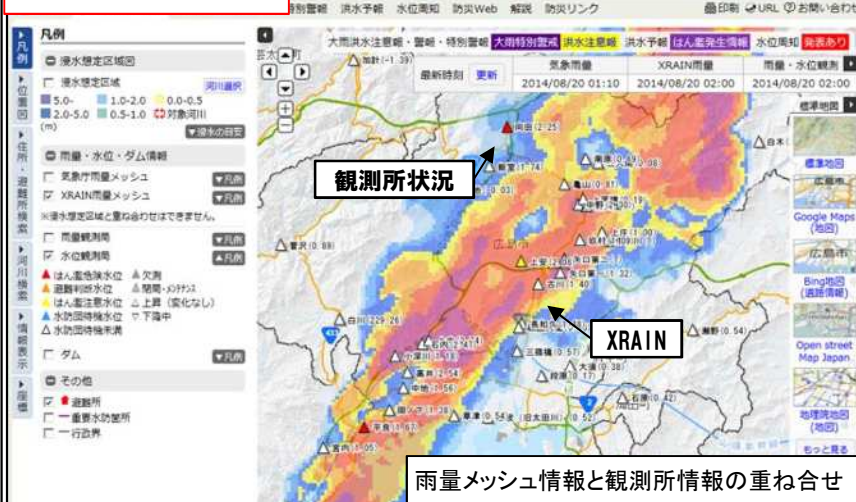


<https://youtu.be/Va400F33ucs>

(1) 迫り来る危険を認識した的確な避難行動のための取組

水害ハザードマップの周知

洪水ポータルひろしま



- 地理情報システム（Web-GIS）に各種情報を表示しています。水系・河川ごとに「浸水想定区域図」や「浸水継続時間」、「家屋倒壊等」の図面を公表しています。

防災情報の周知

- SNSを通じて防災情報を発信し、県民に向けた防災意識の更なる波及効果を図ります。



避難行動等の周知

- 災害から命を守るために必要な行動の習得を通じ、災害時の「死者ゼロ」を目指すとともに、未来の防災リーダーの育成を目標として、出前講座を開催しました。

（防災出前講座実施件数）

| | 小学校 | 中学校等 | 合計 |
|------|-----|------|-----|
| R元年度 | 9校 | 3校 | 12校 |
| R2年度 | 5校 | 1校 | 6校 |
| R3年度 | 12校 | 2校 | 14校 |
| R4年度 | 2校 | — | 2校 |

（ひろしまマイ・タイムライン作成支援）

| | 実施校 | 受講人数 |
|-----|------|---------|
| 西 西 | 64校 | 4,421人 |
| 西 東 | 37校 | 3,031人 |
| 東 部 | 35校 | 3,154人 |
| 北 部 | 13校 | 655人 |
| 合 計 | 149校 | 11,261人 |

※ひろしまマイ・タイムラインの作成支援に関しては、小学校を対象に実施したもの。洪水中心ではなく、風水害に対しての出前講座として実施。

(1) 迫り来る危険を認識した的確な避難行動のための取組

⑦ 避難行動に資する基盤の整備 簡易型河川監視カメラの設置

既存の水位観測所を設置していない河川のうち、平成30年7月などの豪雨により浸水被害が発生した河川や、人口・資産の集中する河川(水位周知河川等)を中心に設置している。令和4年度には新たに45ヶ所に設置し、現在、123ヶ所で運用している。(CCTVカメラ21ヶ所を含む)

- 国土交通省ホームページ「川の防災情報」にて公開している。
- 引き続き、住民が河川防災情報を入手しやすい環境の整備に努める。

簡易型河川監視カメラ 【設置例】



【画像公開例】 水内川(広島市佐伯区湯来町)



(2) 水防活動の効率化、水防体制の強化

③ 河川管理者等による堤防の点検・監視の実施

県管理河川における危険箇所等について現地の状況を確認し共有しておく必要があり、その対応として、出水期前の堤防点検に併せて、危険箇所等を現地確認することとし、**県と市町が合同で堤防点検をする区間を選定し、当該区間を市町と一緒に現地で確認する。**

○ 令和2年度から、各建設事務所（支所）において、管轄する県管理河川の出水期前点検の実実施スケジュールを作成する際、点検する区間の関係市町と合同で実施するよう依頼した。



堤防点検の様子（馬洗川 2022.5.16）

(2) 水防活動の効率化、水防体制の強化

④ 関係機関が連携した水防訓練等の実施

県管理河川では、沼田川水系沼田川と黒瀬川水系黒瀬川に河川防災ステーションを整備している。

県管理河川では、重要水防箇所を定め県内の水防施設に備蓄資材及び器具を保管しており、**出水期前に水防工法講習会**を実施している。

沼田川 防災ステーション



黒瀬川 防災ステーション



| 区分 | 倉庫数 | 水防資材 | | | | | | | 主要水防器具 | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----------|--------|-----|--------|-------|---------|--------|--------|-------|------|-----|-----|-------|------|------|-------|-----|-----|-------|--------|
| | | 土のう等 | 内大型土のう | 麻袋 | シート | なわ | ロブ | 杭鉄・パイプ | 鉄線 | かきや | のこぎり | くわ | ベッチ | スコップ | たこづち | かなづち | かすがい | なた | おのま | かま | 防水懐中電灯 |
| 県有 | 27 | 310,037 | 4,285 | 400 | 3,397 | 792 | 75,417 | 5,005 | 1,093 | 148 | 75 | 48 | 44 | 537 | 17 | 12 | 1,004 | 49 | 31 | 63 | 10 |
| 市町有 | 262 | 743,877 | 765 | 570 | 18,412 | 2,714 | 47,613 | 36,240 | 1,208 | 1,053 | 676 | 317 | 163 | 6,009 | 163 | 289 | 120 | 489 | 395 | 1,318 | 640 |
| 計 | 289 | 1,053,914 | 5,050 | 970 | 21,809 | 3,506 | 123,030 | 41,245 | 2,301 | 1,201 | 751 | 365 | 207 | 6,546 | 180 | 301 | 1,124 | 538 | 426 | 1,381 | 650 |

出典：令和4年度広島県水防計画書 ※河川と海岸を含む

(3) 浸水を早く解消するための排水対策

① 排水ポンプ車の運用

排水ポンプ車は、災害時の浸水被害への対策として有効な防災機材であり、市町からの要請により緊急時の広域な応援派遣が可能である。

広島県では西部建設事務所に1台、東部建設事務所2台、三原支所1台配備し、国と県で連携して、排水ポンプ車の全県的な運用を実施。

また、令和5年4月に呉支所へ1台、北部建設事務所へ1台新たに配備した。

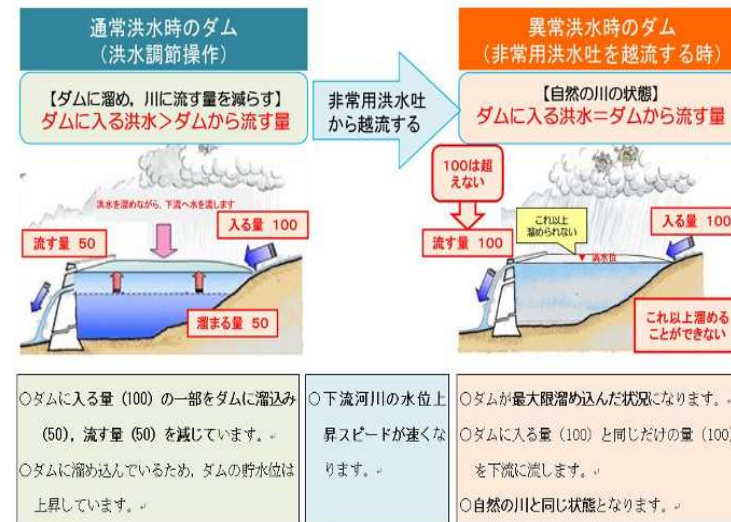
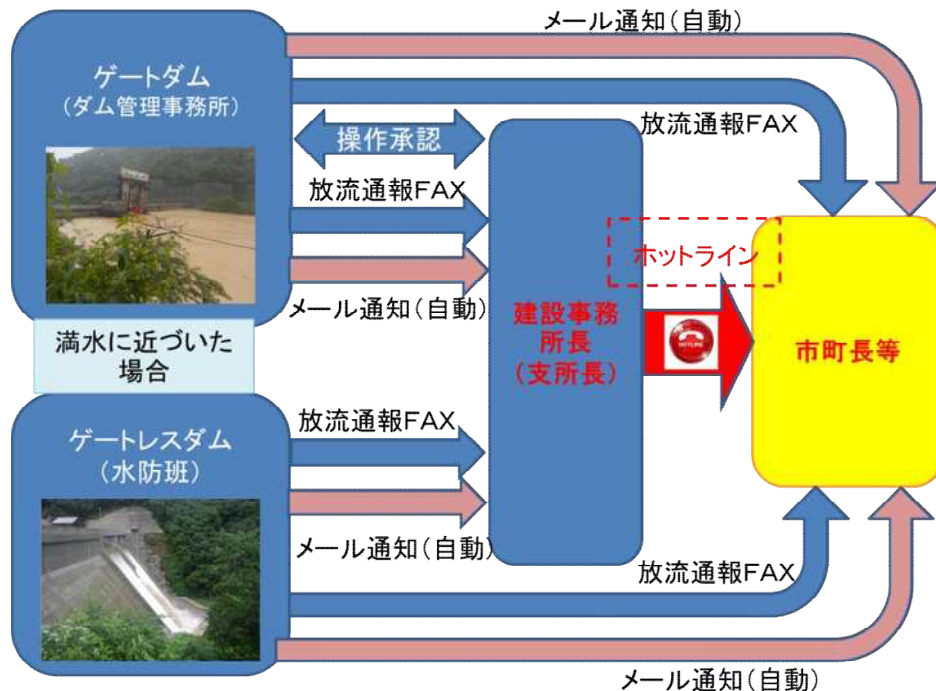


(4) 異常豪雨の頻発化に備えたダムの洪水調節機能と情報の充実

②ダム放流情報に関するホットラインの実施

異常洪水時防災操作に関する情報、非常用洪水吐からの越流に関する情報について、**建設事務所(支所)長より市町長等にホットラインを行い**、市町長が行う避難勧告等に係る判断を支援する。

| ダム種類 | ホットライン元 | ホットライン先 | 協議等 | ゲートダム | | ゲートレスダム | | |
|---------|-----------|-----------|-----|---------------------|-----------|-------------|------|-----|
| | | | | ゲート開け始め等 (各ダムごと) | 異常洪水時防災操作 | 非常用洪水吐からの越流 | | |
| | | | | | 承認時 | 移行時 | 1時間前 | 越流時 |
| ゲートダム | ダム管理事務所長 | 市町危機管理部署等 | 変更 | ○ | | | | |
| | 建設事務所・支所長 | 市町長 | 新規 | | ○ | ○ | | |
| ゲートレスダム | 建設事務所・支所長 | 市町長 | 新規 | | | | ○ | ○ |



ホットラインと合わせて、ダムから**メール通知(自動)**を行うことで、情報伝達の強化を図る。

2. 各構成機関の取組状況

福山市

(1) 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

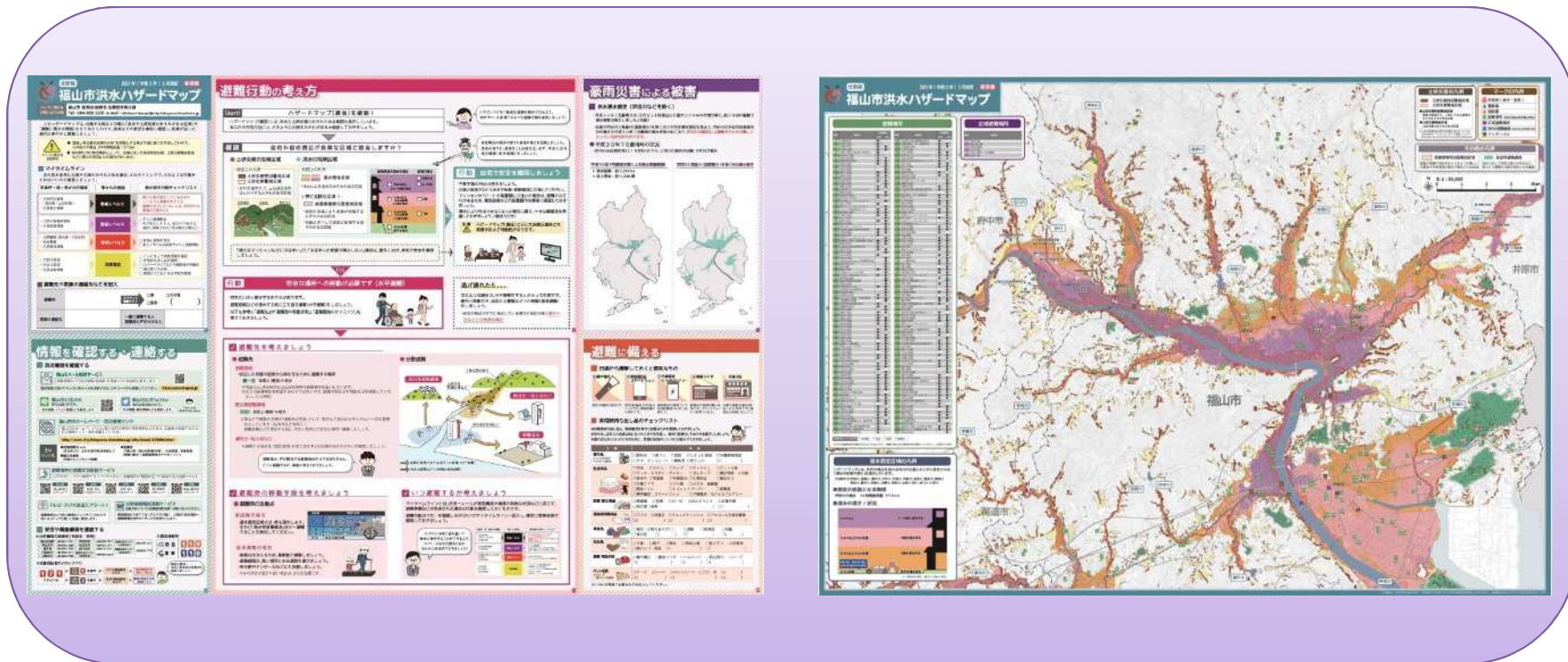
福山市

③洪水浸水想定区域図・ハザードマップの作成・周知

④避難計画の作成・確認

想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図や中小河川における洪水浸水想定区域図を基にした水害ハザードマップを作成し、印刷物の配布、ホームページへの掲載等により住民等へ周知

想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図や中小河川における洪水浸水想定区域図に基づき、市町の避難計画を見直し住民等へ周知



⑧ 防災教育や防災知識の普及

小中学校等を対象とした河川防災の出前講座、避難訓練等において、水害対応タイムライン、水害ハザードマップや「ひろしまマイ・タイムライン」等を活用して、洪水時の住民の対応を周知

河川防災の出前講座の開催状況

| 年度 | 小学校 | 中学校 | その他 |
|------|------------|-------------|-----|
| 2022 | 光小学校(約80人) | | |
| 2022 | | 幸千中学校(197人) | |



(2) 水防活動の効率化、水防体制の強化

福山市

① 水防体制の確認・強化

消防団(水防団)員の募集、自主防災組織・企業等の参画を促すための広報を実施

※横断幕・懸垂幕の作製



(2) 水防活動の効率化、水防体制の強化

福山市

④ 関係機関が連携した水防訓練等の実施

水害対応タイムラインを活用するなど、多様な関係機関、住民等の参加による実践的な水防訓練を実施
毎年出水期前に水害対応タイムラインや水害ハザードマップ等を活用し、避難場所や避難経路及び危険箇所などを確認するなど、住民参加による実践的な避難訓練を実施

| 訓練名 | 主体 | 参加者 | 参加人数 (規模) | 訓練内容 | 時期 |
|----------------|------------|---------------|--------------|---------------------------|------|
| 水防訓練 | 消防局 消防団 | 消防局職員 消防団員 | 120人 | ・土のうづくり ・水防工法 | 出水期前 |
| 規律訓練・ 機関員訓練 | 消防団 | 消防団 | 360人 | ・規律訓練 ・機関員訓練 ・ロープ結索 | 出水期前 |



府 中 市

- ③洪水浸水想定区域図・ハザードマップの作成・周知
- ④避難計画の作成・確認

想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域について、洪水ハザードマップをホームページへの掲載等により住民等へ周知、また、広報ふちゅう6月号へハザードマップによる危険場所の確認することを掲載。

特集
災害が激甚化・頻発化しています
命を守るためには**早めの避難**が何よりも大切です

近年、記録的な大雨や台風が発生などによる災害が激甚化・頻発化し、多くの被害が出ています。昨年の夏にも広島県で大雨特別警報が発表されていて、今年の梅雨も最大限の警戒が必要です。早い段階で適切に避難できれば、自身や家族の命を守ることにつながります。災害に備え、今できること・やるべきことを考えましょう。

問い合わせ先 危機管理課 ☎43-7211

広島県「みんなで減災」はじめの一歩ポータルサイトでは、災害から命を守るための5つの行動を紹介しています。今回の特集では、いつ起こるか分からない災害への備えとして、皆さんに今一度確認してもらいたいポイントをまとめました。

知る 察知する
行動する 学ぶ 備える

知る 身の回りの災害危険箇所などを知る

① **災害の危険性を知ろう**
過去にあった災害から、災害の危険性を知ることが大切です。府中市では、平成30年7月豪雨災害での教訓を次の世代へと受け継いでいくため、被害状況や災害対応の記録をとりまとめた府中市平成30年7月豪雨災害記録誌を作成しました。

② **ハザードマップを確認し、危険箇所を知ろう**
ハザードマップは、被害が想定されるエリアや避難する場所などを表示した地図で、土砂災害ハザードマップと洪水ハザードマップの2種類を作成しています。自宅の危険性を確認することはもちろん、いざという時、安全に避難するために、事前に安全なルートを確認しておきましょう。ハザードマップは、危機管理課で配布しているほか、市のホームページにも掲載しています。

③ **避難場所を知ろう**
避難先は市が開設する避難場所ではありません。例えば、安全な地域の親戚・友人宅への避難、高台への避難、地域が開設する避難場所などがあります。どの経路で行けば安全か、避難場所とあわせて避難経路も把握しておきましょう。

■市が一次開設する避難場所
▷国府小学校体育館 ▷カトリックピア東生 ▷リ・フレ ▷府中市生涯学習センター
▷阿字スポーツグラウンド体育館 ▷カトリックピア明善 ▷府中中学体育館
▷上下町民会館 ▷第一中学校体育館 ▷広谷保寿所 ▷府中交通安全センター(車での避難のみ)

■市が二次開設する避難場所
▷南小学校体育館 ▷栗生小学校体育館 ▷府中明徳学園第二体育館 ▷上下南小学校体育館

マイ・タイムライン どうやって作るの?
① **手書きで作る**
マイ・タイムラインを簡単に作成できる専用の用紙があります。用紙は危機管理課に準備しています。
② **ホームページ上の作成フォームで作る**
自宅のパソコンやスマートフォンでも作成できます。

マイ・タイムライン作成講習会も開催します!
市が開催する講習会のほかに、地域のごまざまな集まりにも出張して講習会を行います。気軽に相談してください。

ひろしまマイ・タイムライン 検索
スマホからはコチラ

広報ふちゅう 令和4年6月1日 第128号

「広報ふちゅう」で周知
広報6月1日号にハザードマップの記事掲載

(1) 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

県・市町

⑧ 防災教育や防災知識の普及

小中学校等を対象とした河川防災の出前講座、避難訓練等において、水害対応タイムライン、水害ハザードマップや「ひろしまマイ・タイムライン」等を活用して、洪水時の住民の対応を周知

河川防災の出前講座の開催状況

| 年度 | 小学校 | 中学校 | その他 |
|------|-----|-----|--------|
| R4年度 | - | - | 上下高等学校 |

上下高等学校出前講座においてVR体験学習の様子

ひろしまマイ・タイムラインの作成支援

| 説明会等 | 参加人数 | その他 |
|-------|------|-----|
| 父石町 | 39人 | |
| 三郎丸町 | 17人 | |
| 諸田公民館 | 18人 | |
| リ・フレ | 29人 | |



世 羅 町

⑧防災教育や防災知識の普及

小中学校等を対象とした河川防災の出前講座、避難訓練等において、水害対応タイムライン、水害ハザードマップや「ひろしまマイ・タイムライン」等を活用して、洪水時の住民の対応を周知

河川防災の出前講座の開催状況

| 年度 | 小学校 | 中学校 | その他 |
|------|-----|-----|--------------|
| R4年度 | - | - | 自主防災組織ほか団体対象 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

ひろしまマイ・タイムラインの作成支援

| 説明会等 | 参加人数 | その他 |
|---------|-------|-----|
| 住民向け10回 | 計170名 | |
| | | |
| | | |
| | | |



(2) 水防活動の効率化、水防体制の強化

世羅町

① 水防体制の確認・強化

消防団(水防団)員の募集、自主防災組織・企業等の参画を促すための広報を実施



消防団員は、仕事を持ちながら、「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神に基づき、地域の安全と安心を守るために活動しています。

消防団の活動は、火災における消火活動はもとより、水防活動や行方不明者の搜索活動など多岐にわたっています。また、大規模災害時には地域防災の中心として活動しています。

近年、女性消防団員も増加しており、女性ならではの視点を生かし活躍しています。男女問わず、自分たちの地域の安全・安心のために活動していただける方の入団をお待ちしています。

消防団員の身分、入団資格

- ・消防団員は、非常勤特別職の公務員です。年額報酬や退職報償金、出動手当が支給され、公務災害補償等が受けられます。
 - ・町内に居住又は勤務されている年齢18歳以上の方なら入団できます。
- 詳しくは、お住まいの地区の消防団員又は総務課へお問合せください。

【お問合せ先】 総務課 生活安全係 ☎0847-22-1111

消防団応援店を募集します

・消防団応援店(応援店事業)とは?

世羅町消防団の団員に対し、料金割引等のサービスをしていただける店舗や事業所のことです。消防団を応援してもらうことにより、世羅町消防団の魅力度アップや団員数増加など、更なる地域の活性化や安全安心の強化につながります。

・応募方法

消防団応援店は随時募集しています。詳しくは世羅町ホームページを御覧いただくか総務課へお問合せください。

【お問合せ先】 総務課 生活安全係 ☎0847-22-1111



(2) 水防活動の効率化、水防体制の強化

世羅町

④ 関係機関が連携した水防訓練等の実施

水害対応タイムラインを活用するなど、多様な関係機関、住民等の参加による実践的な水防訓練を実施
毎年出水期前に水害対応タイムラインや水害ハザードマップ等を活用し、避難場所や避難経路及び危険箇所などを確認するなど、住民参加による実践的な避難訓練を実施

| 訓練名 | 主体 | 参加者 | 参加人数 (規模) | 訓練内容 | 時期 |
|------|--------|-----------------|--------------|-----------------|----|
| 図上訓練 | 自主防災組織 | 住民 (伊尾地区) | 22名 | ハザードマップ 図上訓練 | 6月 |
| 図上訓練 | 自主防災組織 | 住民 (津名地区) | 20名 | ハザードマップ 図上訓練 | 6月 |
| 図上訓練 | 自主防災組織 | 町内自主防災 組織関係者 | 27名 | ハザードマップ 図上訓練 | 6月 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |



福山河川国道事務所

(2) 水防活動の効率化、水防体制の強化

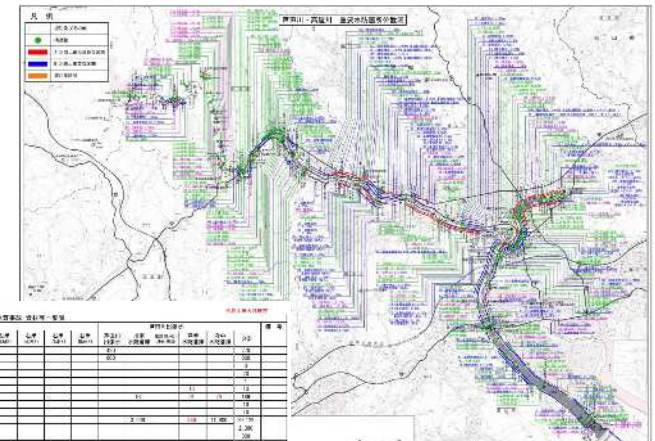
国

② 水防資機材の情報共有及び相互支援

令和4年6月に「芦田川洪水予報連絡会」「芦田川水防連絡協議会」を実施し、重要水防箇所や水防資材の保管場所、数量等の情報を共有。併せて、災害対策機械についても情報提供。



芦田川洪水予報連絡会、
水防連絡協議会の様子
(令和4年6月8日)



| 品名 | 単位 | 数量 | 保管場所 | 備考 |
|-------|-----|-----|------|-----|
| ポンプ | 台 | 10 | 〇〇〇〇 | |
| 発電機 | 台 | 5 | 〇〇〇〇 | |
| 浮き輪 | 個 | 20 | 〇〇〇〇 | |
| 水防資機材 | 箱 | 15 | 〇〇〇〇 | |
| ... | ... | ... | ... | ... |
| 計 | | 50 | | |

水防連絡協議会で共有された資料
右上:重要水防箇所図
左下:水防資材一覧表

(2) 水防活動の効率化、水防体制の強化

国

④ 関係機関が連携した水防訓練等の実施

- ・出水期前に、水防関係機関への情報伝達等、実践的な演習により、防災体制に万全を期すことを目的とした訓練を実施し、関係機関への情報伝達として、芦田川水害タイムラインの発動やホットラインを実施した。
- ・南海トラフ巨大地震を想定した訓練を10月に実施し、関係機関への情報伝達として、ホットラインを実施した。

| 訓練名 | 主体 | 参加者 | 参加人数 (規模) | 訓練内容 | 時期 |
|-----------|--------------|------------------------|------------------------------|-----------------------------------|-------|
| 風水害対策訓練 | 国土交通省中国地方整備局 | 中国地方整備局管内事務所、自治体、関係機関等 | 中国地方整備局全職員、自治体及び関係機関の防災担当職員等 | ・災害情報共有 ・所管施設点検 ・被災状況報告 等 | 5/10 |
| 地震・津波対策訓練 | 国土交通省中国地方整備局 | 同上 | 同上 | ・安否確認訓練 ・非常参集訓練 ・初動体制確立訓練 等 | 10/31 |



風水害対策訓練の様子(R4.5.10)

気象台

⑥ 住民の避難行動を支援する防災情報の提供・周知

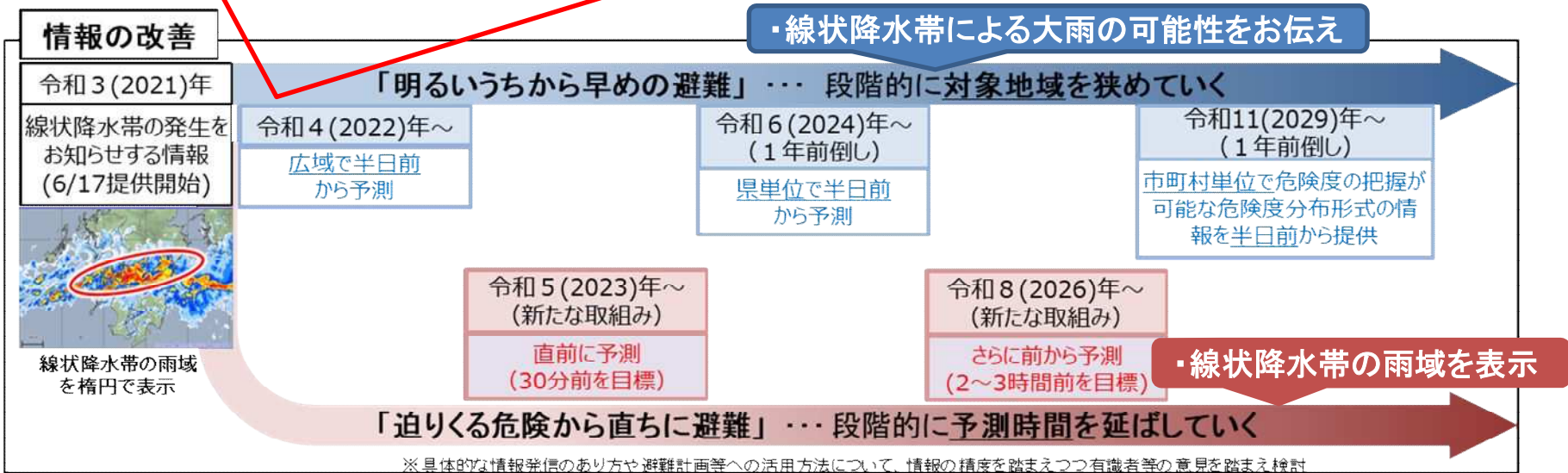
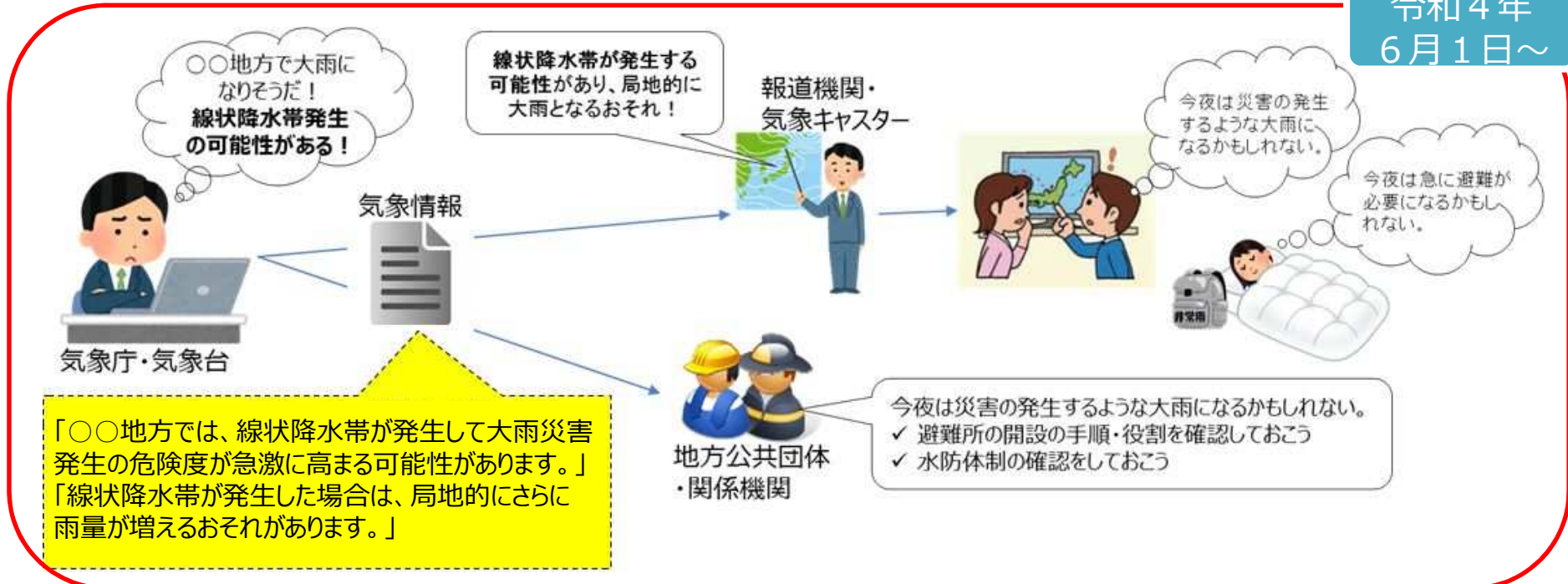
・「防災気象情報の伝え方に関する検討会」の提言を受けた防災気象情報の改善及び提供

令和4年度は以下の事項について実施

- ・ 線状降水帯予測情報提供開始
- ・ キキクル「黒」の新設と「うす紫」と「濃い紫」の統合
- ・ 大雨特別警報（浸水害）の指標の改善
- ・ 洪水に関する危険度情報の一体的発信

「線状降水帯」による大雨の可能性を半日程度前からお伝えします

令和4年
6月1日～



警戒レベル4に相当するキキクル（危険度分布）は紫です

| キキクルの色 | 警戒レベル | 特別警報基準値 超過を「黒」で表示 |
|---------------------------|------------|--|
| 黒 災害切迫 | 5相当 | これまでのキキクル これまでのキキクルの色 警戒レベル 濃い紫 - うす紫 4相当 赤 3相当 黄色 2相当 白(水色) - |
| 紫 危険 | 4相当 | |
| 赤 警戒 | 3相当 | |
| 黄色 注意 | 2相当 | |
| 白(水色) 今後の情報等に留意 | - | |



「紫」が出現した段階で速やかに安全な場所に避難する判断を!



九州北部豪雨における赤谷川の被害状況
(平成29年7月7日国土地理院撮影)

質問1) キキクル「黒」が表示されていないければ災害は発生しないの?

⇒そうではありません。「黒」は、大雨による災害がすでに発生している可能性が高い状況であり、災害が発生する前にいつも出現するとは限りません。このため、「黒」を待つことなく、「紫」が出現した段階で、速やかに安全な場所に避難することが極めて重要です。

質問2) 市町村から発令される避難情報とどう違うの?

⇒市町村から避難情報が発令された際には速やかに避難行動をとってください。一方で、多くの場合、防災気象情報は自治体が発令する避難指示等よりも先に発表されます。このため、危険な場所からの避難が必要とされる警戒レベル4に相当する紫や高齢者等の避難が必要とされる警戒レベル3に相当する赤色が出現した際には、避難指示等が発令されていなくても、自主的に避難の判断をすることが重要です。

大雨特別警報（浸水害）の指標の改善

令和4年
6月30日～

＜改善のポイント＞ 警戒レベル5相当の状況に一層適合させるよう、災害発生との結びつきが強い「指数」を用いて大雨特別警報（浸水害）の新たな基準値を設定。

＜改善前の課題＞

大雨特別警報（浸水害）を発表したが多大な被害までは生じなかった事例が多くみられる（例：平成26年8月の三重県の大雨事例、平成26年9月の北海道の大雨事例、平成29年7月の島根県の大雨事例）。

また、多大な被害が発生したにも関わらず、大雨特別警報（浸水害）の発表に至らなかった事例もみられる。

大規模な浸水害を高い確度で適中させるよう指標、基準値を設定

特別警報の
指標に用いる
基準値

中小河川氾濫に起因する大規模な浸水害を適中させるように**流域雨量指数**の指標、基準値を設定

内水氾濫に起因する大規模な浸水害を適中させるように**表面雨量指数**の指標、基準値を設定

洪水キキクル「災害切迫」（黒）の判定に用いる。

浸水キキクル「災害切迫」（黒）の判定に用いる。

- ✓ 大雨特別警報（浸水害）の対象地域を大幅に絞り込んだ発表が見込まれる。
- ✓ 島しょ部など狭い地域への発表も可能となる。
- ✓ 警戒レベル5相当の情報としての信頼度を高め、住民や自治体等の防災対応を強力に支援。

（参考）改善前の大雨特別警報（浸水害）の発表条件

以下の①又は②を満たすと予想され、かつ、さらに雨が降り続けると予想される地域の中で、洪水キキクル又は浸水キキクルで5段階のうち最大の危険度が出現している市町村等に発表。

- ① 長時間指標 48時間降水量及び土壌雨量指数において、50年に一度の値以上となった5km 格子が、ともに50格子以上まとまって出現。
- ② 短時間指標 3時間降水量及び土壌雨量指数において、50年に一度の値以上となった5km 格子が、ともに10格子以上まとまって出現。

洪水に関する危険度情報の一体的発信

「国管理河川の洪水の危険度分布※」
(水害リスクライン)

※ 大河川のきめ細かな越水・溢水の危険度を伝える

「洪水警報の危険度分布※」
(洪水キキクル)

※ 中小河川の洪水危険度を伝える



自治体・住民が
それぞれの詳細なリスク情報を
洪水キキクルページ (気象庁HP)
でワンストップで確認可能に

令和5年
2月16日
運用開始